



2026年8月6日

各位

会社名 住友精化株式会社
代表者名 代表取締役社長 織田 佳明
(コード番号 4008 東証プライム市場)
問合せ先 サステナビリティ推進室 部長 (広報)
安保 宏一
(TEL. 06-6220-8511)

配当方針の変更（DOE 導入）および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更および2027年3月期配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更

(1) 変更の理由

当社は、本日公表した「新中期経営計画（2026～2030年度）の骨子」において、資本効率改善に向けた取り組みとして、自己資本比率の中期的な管理範囲を50～60%に設定したうえで、現預金活用の効率化と機動的な資金調達により、規律ある成長投資と株主還元の更なる充実を進めることとしました。これにともない、配当方針の指標として、新たに株主資本配当率（DOE）を導入するものです。併せて、内部留保の活用目的について、新中期経営計画において重点的な資源配分をおこなう項目を記載することとしました。

(2) 変更内容

（変更前）

当社は、剰余金の配当に関しては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、配当性向30%以上を基準に、安定的な配当実施および今後の事業展開に備えるための内部留保などを勘案して決定することを基本としております。また、内部留保につきましては、業績の向上と経営基盤の強化につながる生産体制拡充、コスト競争力の強化および市場ニーズに対応した製品の研究開発に投資してまいります。

（変更後）

当社は、剰余金の配当に関しては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、原則として配当性向30%以上かつ株主資本配当率（DOE）※ 4.5%以上を基準に、安定的な配当の実施および今後の事業展開に備えるための内部留保などを勘案して決定することを基本としております。内部留保については、成長投資および経営基盤の強化に充てたいします。

※株主資本配当率(DOE) = 配当総額 ÷ 前期末株主資本

前期末株主資本とは、前期末の純資産合計からその他の包括利益累計額（為替換算調整勘定、その他評価差

額金、繰延ヘッジ損益および退職給付に係る調整累計額等）を除外した金額を言います。

2. 配当予想の修正

「1. 配当方針の変更」でお知らせした（変更後）の配当方針に基づき、2027年3月期配当予想を以下の通り修正いたします。

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	24円00銭	24円00銭	48円00銭
今回修正予想	35円00銭	35円00銭	70円00銭
前期実績 2026年3月期	100円00銭 (20円00銭)	120円00銭 (24円00銭)	220円00銭 (44円00銭)

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。（2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し計算した場合の配当金の額は、括弧内のとおりです。）

以上